

1 単元名 どうぶつ園のじゅうい

2 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	学びに向かう力・人間性等
○文の中における主語と述語の関 係に気付いている。 ○共通、相違、事柄の順序など情 報と情報との関係について理解 している。	○「読むこと」において、時間的な 順序を考えながら、内容の大体 を捉えている。 ○文章の内容と自分の体験とを結 びつけて感想をもっている。	○進んで文章の内容と自分の体験 とを結びつけて感想をもち、これ までの学習をいかして、文章を読 んで考えたことを話そうとしてい る。

3 教材のとらえ

本単元は、時間的な順序を考えながら内容の大体を読み取り、自分の知識や経験と比べながら感想をもち、話すことをねらいとしている。また、主語と述語の関係を見つけることで文章の構成を読み取ることをねらいとしている。本教材は、動物園の獣医の1日の仕事について、日記のように時間を追いかけながら書かれているため、時間的な順序を捉えることに適している教材である。子どもたちがイメージしやすい動物が出てくることや病気やけがの治療などについて書かれているため、意欲的に読み進められることが予想される。

学習の流れとして、「獣医さんのすごいポイントを話そう」を目標に、獣医さんがどのような仕事をしているのかを読み取りながら、時間的な順序を表す言葉に注目して学習を進めていく。主語と述語の関係、叙述から獣医さんの仕事の工夫やその理由などを捉え、自分の経験と比べた感想などを交流していく。単元の最後には、自分の心が動いた獣医さんの仕事について、経験を踏まえながら話すことで、自分にはない考えに触れる機会を作っていきたい。



4 本時の指導案

本時の目標 「お昼前の仕事のわけとその工夫を読み取り、獣医さんのすごいところを見つけることができる。」

本時の学習

学 習 活 動	教 師 の 支 援
1. めあてをつかむ。 「前の学習で見つけたすごいぞポイントは何かな？」 ・ 怖がらないように診る工夫を考えたこと。 ・ えさを食べている間に診終えたこと。 「いのししを診た獣医さんすごかったよね。じゃあ次はどんなすごいぞポイントが見つかるかな」 にほんざるのちりょうをしたじゅういさんのすごいぞポイントをさがそう。 2. その仕事のわけや工夫を見つける。 「じゅういさんがお昼前にしたことはなんですか。」 ・ けがをしたにほんざるに薬を飲ませた。 ・ にほんざるは薬の味が苦手だから飲まなかったから。 ・ えさに混ぜてもだめだった。 ・ 半分に切ったバナナに挟んでもダメだった。 ・ 薬を粉にして、はちみつに混ぜて食べさせていた。 ・ やっと飲んでくれたから、じゅういさんも嬉しかったと思う。 「ここでも獣医さんの工夫や思いが見つかったね。」 3. 自分が見つけた獣医さんのすごいぞポイントを交流する。 「今日のじゅういさんのすごいぞポイントは見つかったかな。」 ・ にほんざるのためにいろいろな工夫を考えていてすごい。自分なら思いつかない。 ・ 途中で薬を飲ませるのを諦めなかったのがすごい。 ・ 薬を飲めない猿の気持ちもわかる。自分も薬の味が苦手だから。 「今日のじゅういさんもすごいところがいっぱい見つかったね。」 4. 次時に向けて見通しをもたせる。 「じゅういさんの仕事はここで終わりだったかな？」 ・ この後、ワラビーの歯の治療はします。 「次は5段落を読んで、すごいところを見つけましょう。」	○前時までの内容を教室に掲示し、いつでも想起できるようにする。必要によって、その掲示に注目させる。 ○獣医さんの仕事の理由や工夫に線を引く時間をとる。 ○「始めに獣医さんがした工夫は？」と聞き、工夫の順序を確認する。 ○「やっと飲み込んでくれたときってどんな気持ちだったかな？」と問いかけ、その時の獣医さんの気持ちに目を向けさせる。 【知・技】 お昼前の仕事とそのわけや工夫を読み取っている。(発言、記述) ○個人で解決する時間をとる。 ○机間指導中、すごいぞポイントが見つからない児童には、工夫をたくさん考えていることや途中であきらめなかったことなどを伝え、思考を促す。 【思・判・表】 文章の内容と自分の体験とを結びつけて感想をもっている。(ワークシート)

